けやき通信 No.356

2023. 4月

— 錦織 佳代子 —

さいまざまの事思ひ出すさくらかな　芭蕉

ひろみさんといっしょの朝の散歩は蒼社川土手の桜並木。四月になったとたん、桜はパッと満開に。ウグイスの声も。海の方から燃えるような陽が昇る。今日もよい日になりそう。

読書ノート

● マドレーヌといぬ

ルードウィッヒ・ベーメルマンス作　瀬田禎二訳　福音館書店

「パリのつたのからんだあるやしきに12人のおんなのこがくらしていました。」

——小さなおんなのこたちは、いなくなった犬をさがしてパリの町々をあるく。サクレクール寺院、モンマルトルの丘、チュイルリー公園……犬はいない……。そしてどうなった？

仙台の孫ようくんが図書館で借りた絵本をパソコン画面で見せてくれた。なつかしい〜〜

「うちにあるのを送って」とマヤ。いっしょによく読んだねえ。本棚の古びた絵本、うしろのページに「'73年12月30日GORIより」と書いてある。まあ、50年も前。結婚前にもらったのだ〜。私が読み、子どもが読み、孫が読み、どこまで読み継がれるのだろう。マドレーヌ……。本は宝もの。何冊もシリーズが出ている。

● マドレーヌとパリのふるいやしき

作ジョン・ベーメルマンス・マルシアーノ
訳 江國香織

主人公マドレーヌの絵本は、みんなベーメルマンス作と思っていた。読みながら絵も文もほんのちょっとちがう？ うしろのページにこの本の作者はルードウィッヒ・ベーメルマンスの孫、とある。まあ！こんなこともあるのだ。祖父の物語と同じ登場人物、背景の家や公園、町、そこでおこるできごと……すんなりなじんでいる。絵本は読みつがれていくだけでなく、祖父から孫に作り続けられ、物語が展開する。なんだかうれしくなる。

三日三日、ノーベル文学賞受賞作家、大江健三郎氏老衰のため死去。88歳。大江さんも亡くなった……何冊もある著書を本棚から取り出して、心からの哀悼を。出身地愛媛の内子町大瀬には何度か訪れた。卒業した大瀬中学校は、大江の友人原広司の設計。また訪ねたい！

庭のライラックが咲いてる。！もうそんなとき？白い小さな花房、ハート形のやさしい若葉。ほんのり甘い香り。

りんごの豚肉巻き（4人）

前に紹介したかもしれません。

肉より魚が好きなようたろうくん（牛肉は好き）この豚肉おいしいとよくたべた。

りんご小1コ　皮と芯を取り8等分する

豚肩ロース薄切り8枚（小間切れ肉でも）　軽く塩、コショウしてりんごを巻く

スライスチーズ2枚（1枚を4等分）

・塩、コショウ、油、ワイン（酒）

① フライパンにサラダ油少々を熱し、肉のとじ目を下にして焼く。

② 全体に焼色をつけ、ワイン大さじ1をふり蒸し焼きにする。チーズをのせ1分ほどおき、とけたらでき上がり。

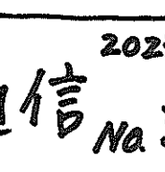
マヤはしょうゆ、みりん少し。

食べやすく切っておく

ポテトサラダ　レタス、人参、ブロッコリー　などいそえて　ヤサイも大好き！

仙台からマヤとようたろうくんの里帰り。

3/26〜30.



4才大きな頭にまっ黒い髪がいっぱい

ばあちゃんきをつけてね

何かと気づかってくれる。

じーじの畑で大根、人参を抜く!!

マヤは仕事で松山へ行ったり友人と会ったりリモート会議？

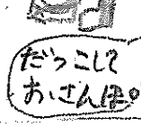
フローリングの床に5ミリ幅のマスキングテープをはりつけて

道路や横断歩道パーキングなど毎日工事が進捗する

ようくんとみーちゃんはそれぞれ自分流にテープを使って作品づくり。3コだけ買って選んで、「これでいいよ　あとはいらないよ」エライね。

ママが小さいとき遊んだ人形

バービーちゃんをおもちゃばこでみつけてお気に入り。



だっこしておさんぽ。

イス、テーブルトイレなど作っておうちができていく建築家の両親を見てる？

バービーちゃんの

4/10 四ヶ嶺竜神平 青い空、鳥たちの歌声。カタクリが咲いてた!!